

(表)

様式第1号(第4条関係)

鶴ヶ島市重度障害者等日常生活用具(住宅改修費)給付・貸与申請書

年 月 日

(あて先) 鶴ヶ島市長

申請者 住所

氏名

(対象者との続柄

)

鶴ヶ島市重度障害者等日常生活用具給付等実施要綱第5条の規定により、日常生活用具(住宅改修費)の給付・貸与を受けたいので、次のとおり申請します。

対象者	氏名		男・女	生年月日	年 月 日 (歳)	
	住所	鶴ヶ島市				
	障害種別	身体・知的・精神	手帳番号	第 号		
	等級		交付年月日	年 月 日 交付		
	障害名					
用具	給付(貸与)を受けたい用具の名称		希望する型式規模等			
住宅改修	改修する住宅の住所					
	工事内容	区分	1 手すりの取付け 2 床段差の解消 3 床材の変更 4 扉の取替え 5 便器の取替え 6 その他 ()			
		居室生活動作補助用具	1 便器 2 手すり 3 スロープ 4 その他 ()			
	過去の給付又は貸与の状況	区分	給付形態	給付等年月日	給付等の内容	
日常生活用具		給付・貸与	年 月 日			
現在の住まいの状況		1 自宅 2 借家 (貸主の諾否→)				
現在の介護の状況	入浴	1 他人の介助を必要 2 清拭のみ 3 入浴、清拭ともして いない 4 自分でできる	排便	1 他人の介助を必要 2 便器(携帯用)使用 3 自分でできる 4 おむつ使用	移動	1 車いす使用 2 他人の介助を必要 (一部・全部) 3 自分でできる
給付(貸与)を希望する理由						
備考						

(裏)

負担上限月額認定						
	氏名	対象者との続柄	生年月日	職業	課税状況	
					当該年度分 市民税均等割	当該年度分 市民税所得割
世帯の状況		本人				
世帯範囲の特例に関する認定	<p>「世帯」に市町村民税課税の方がいるものの、<u>申請者及びその配偶者が非課税の場合であって、次のいずれにも該当する場合は、特例として申請者及びその配偶者を別の『世帯』とみなして取り扱うことができます。</u></p> <p><input type="checkbox"/> 下記のいずれにも当てはまるため、住民票に記載された世帯ではなく、申請者のみ又は申請者及びその配偶者のみの世帯とすることを申請します。</p> <p>1 税制上、障害者が同一の世帯に属するものの扶養控除の対象となっていない。 2 健康保険制度において、障害者が同一の世帯に属するものの被扶養者となっていない</p>					
同意書						
負担上限月額決定等に当たり必要があるときは、申請者及び申請者の属する世帯構成員の市町村民税の課税状況、医療保険の加入状況について、関係課及び官公署等に調査・確認されることに同意します。						
氏名 _____ (印)						
注意	1 課税状況欄中「当該年度分」については、申請が4月から6月までにあつては、「前年度分」と読み替える。 2 この申請書には、対象者の属する世帯の当該年度分市民税の課税額を証明する書類（生活保護を受けている場合は、その旨についての福祉事務所長の証明書）を添付すること。 3 様式中、給付又は貸与の字句は、不要の方を抹消すること。					